

作成日 2020年10月26日  
改訂日 2021年9月30日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 ルミパルスプレスト SARS-CoV-2 Ag  
構成試薬 :「抗体結合粒子」  
:「酵素標識抗体」  
:「処理液」  
製品コード 260456  
会社名 富士レビオ株式会社  
住所 東京都新宿区西新宿 2-1-1  
担当部署 お客様コールセンター  
電話番号 0120-292-832  
FAX 番号 03-5781-3764  
緊急連絡電話番号 0120-292-832  
推奨用途と使用上の制限 体外診断用医薬品  
整理番号 643

### 2. 危険有害性の要約

「処理液」

#### GHS分類

健康に対する有害性： 皮膚腐食性・刺激性 区分3  
環境に対する有害性： 水生環境有害性、短期間（急性） 区分1  
水生環境有害性、長期間（慢性） 区分1

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 軽度の皮膚刺激

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【安全対策】 環境への放出を避けること。

【応急措置】 漏出物を回収すること。

皮膚刺激が生じた場合： 医師の診察/手当てを受けること。

【廃棄】 内容物や容器を廃棄する場合は、地方/国の規制に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： 体外診断用医薬品

## 成分及び含有量

「処理液」

成分（危険有害物質）： ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド  
(C16TAC)

化学特性（化学式等）：  $C_{19}H_{42}ClN$

分子量： 320.00

CAS RN： 112-02-7

濃度又は濃度範囲： 3.5%

官報公示整理番号（化審法）：(2)-184

## 4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚  
を多量の水で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師  
の診察/手当を受けること。
- 目に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用し  
ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： 二酸化炭素、粉末または水噴霧。  
周辺の条件に適した消火剤を用いる。
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 火災時の特有危険有害性： 利用できる更なる関連情報はない。
- 特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込ま  
ないように、風上から作業する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：  
適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。関  
係者以外は近づけない。
- 環境に対する注意事項：  
漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：  
適切な保護手袋と保護眼鏡を付けて処理する。漏えい物をペーパータオル等で拭き  
取って、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して  
処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気： 十分な換気ができる場所で取扱う。
- 安全取扱い注意事項： 取扱い後はよく手を洗うこと。

適切な衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、2～10℃に保存する。  
 保存時には凍結しないように注意する。  
 技術的対策： 特になし。  
 混触禁止物質： 特になし。  
 安全な容器包装材料： 特になし。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所の近くに洗眼器と手洗い設備を設置する。  
 含有している成分（ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド）で以下の情報が報告されている。

管理濃度

ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド： 設定されていない。

許容濃度

ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド

日本産業衛生学会（2008年度版）： 設定されていない。

ACGIH（2008年度版）： 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具： 防じんマスク、簡易防じんマスク

手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。

眼及び/又は顔面の保護具： 適切な保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

	抗体結合粒子	酵素標識抗体	処理液
物理状態	液体	液体	液体
色	茶褐色	微黄色～白色微濁	白色微濁
臭い	ほとんどなし	ほとんどなし	ほとんどなし
融点／凝固点	データなし	データなし	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし	データなし
爆発下限及び爆発上限限界/可燃限界	データなし	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし
pH	7付近	7付近	5付近
動粘性率	データなし	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし	データなし
n-オクタノール／水	データなし	データなし	データなし

分配係数 (log 値)			
蒸気圧	データなし	データなし	データなし
密度及び/又は相対 密度	1.04	1.04	1.04
相対ガス密度	データなし	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし	データなし

1 0. 安定性及び反応性

安定性： 通常の使用であれば安定と考えられる。  
 危険有害反応可能性： 情報なし  
 避けるべき条件： 情報なし  
 混触危険物質： 情報なし  
 危険有害な分解生成物： 情報なし

1 1. 有害性情報

「処理液」

成分（危険有害物質）：ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド

GHS分類

急性毒性： 区分 4 であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドの含有濃度が 3.5%であるため区分外に該当しない。  
 皮膚腐食性/刺激性： 区分 2 であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドが 3.5%含まれるため区分 3 とした。  
 軽度の皮膚刺激（区分 3）  
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分 2 であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドの含有濃度が 3.5%であるため区分に該当しない。  
 皮膚感作性： 情報がなく分類できない。  
 呼吸器感作性： 情報がなく分類できない。  
 生殖細胞変異原性： 情報がなく分類できない。  
 発がん性： 情報がなく分類できない。  
 生殖毒性： 情報がなく分類できない。  
 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分 3 であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドの含有濃度が 3.5%であるため区分に該当しない。  
 特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 情報がなく分類できない。  
 吸引性呼吸器有害性： 情報がなく分類できない。

「抗体結合粒子」、「酵素標識抗体」

急性毒性： 情報がなく分類できない。  
 皮膚腐食性/刺激性： 情報がなく分類できない。  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 情報がなく分類できない。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性： 情報がなく分類できない。  
 生殖細胞変異原性： 情報がなく分類できない。  
 発がん性： 情報がなく分類できない。  
 生殖毒性： 情報がなく分類できない。  
 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 情報がなく分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：情報がなく分類できない。

誤えん有害性：情報がなく分類できない。

## 1 2. 環境影響情報

「処理液」

成分（危険有害物質）：ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド

生態毒性

水生環境急性有害性：ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドは甲殻類（オオミジンコ）の48時間 $EC_{50}=0.01\text{mg/L}$ （ECOTOX, 2008）であることから、本品での計算値が $EC_{50}=0.29\text{mg/L}$ となるため区分1とした。

水生生物に非常に強い毒性（区分1）

水生環境慢性有害性：ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドは信頼性のある長期毒性試験データが得られておらず、急速分解性が無く（SRC: BioWin V4.10）、甲殻類（オオミジンコ）の48時間 $EC_{50}=0.01\text{mg/L}$ （ECOTOX, 2008）であり、本品での計算値が $EC_{50}=0.29\text{mg/L}$ となるため区分1とした。

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性（区分1）

残留性・分解性： 情報なし

生物蓄積性： 情報なし

土壌中への移動性： 情報なし

オゾン層への有害性：情報がなく分類できない。

「抗体結合粒子」、「酵素標識抗体」

生態毒性

水生環境有害性、短期（急性）：情報がなく分類できない。

水生環境有害性、長期（慢性）：情報がなく分類できない。

残留性・分解性： 情報なし

生物蓄積性： 情報なし

土壌中への移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 情報がなく分類できない。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：残余廃棄物は大量の水で流す。

ただし処理液が残った場合は回収して業者に処理を委託すること。

汚染容器及び包装：使用した汚染容器や残余の試薬の入った容器は、廃棄物に関する規定に従って処理する。

## 1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法： 該当なし

毒物及び劇物取締法： 該当なし  
化学物質排出把握管理促進法： 第1種指定化学物質 施行令第1条別表第1  
政令番号第389号(ヘキサデシルトリメチルアンモニウ  
ム=クロリド)

## 16. その他の情報

主な引用文献

職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>

NITE-CHRIP [https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip\\_search/systemTop](https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。